



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学

2022年度後期 市民開放授業 受講生募集

講義テーマ

「総合講義—超高齢社会で認知症と向き合う」
～ 認知症の方が積極的に役割を持って地域の中で生きる～

国際医療福祉大学では、大学の一部の授業を「市民開放授業」として地域の方々には開放しています。

募集要項

開講科目

総合講義
— 超高齢社会で認知症と向き合う

科目概要

わが国の認知症高齢者の数は、2012年で462万人と推計されており、2025年には約700万人、65歳以上の高齢者の約5人に1人に達することが見込まれている。今や認知症は、誰もが関わる可能性のある身近な病気である。

認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができ、誰もが真に長生きを喜べる「長寿社会」の在るべき姿について、学び考える。

開講期間

9月28日(水)～11月16日(水)

毎週水曜日18時00分～19時30分 (全8回)

募集定員

50名まで

受講料

3,000円 (8回講義)

※支払い方法は、申込後にご案内致します

募集期間

8月1日(月)～8月26日(金)

申込方法

本紙裏面の申込用紙を、大学教務課窓口へ持参していただくか、郵送もしくはFAXでお申込みください。

※教務課窓口へ持参の場合は、「8時50分～17時00分(平日)」の受付になります。

※申込用紙は大学教務課窓口にあるほか、大学HP <<https://otawara.uhw.ac.jp>> から取得できます。

担当教員：各回講師の変わるオムニバス形式

※講義回、講義内容は予定であり、変更となる可能性があります。

- 9/28 ①「認知症を理解する」
(言語聴覚士 阿部 晶子)
②「認知症の方に寄り添うコミュニケーション」
(言語聴覚士 佐藤 妙子)
- 10/5 「地域における認知症支援・ケアの実際—大学オレンジカフェの活動—」
(作業療法士 関 優樹)
- 10/12 ①「加齢に伴う視機能の変化と眼疾病」
(眼科医 原 直人)
②「認知症に用いる薬の種類と役割」
(薬剤師 辻 稔)
- 10/19 「認知症の人とその家族に対するケア」
(社会福祉士 須藤 昌寛)
- 10/26 「脳活き活き！認知症予防アクティビティの実践」
(看護師 松本 明美)
- 11/2 「認知症(予防)と運動—なぜ、運動が脳にいいの？」
(本学理学療法学科教員)
- 11/9 「もの忘れ外来における認知症治療」
(国際医療福祉大学塩谷病院
高齢者総合診療科 岩本 俊彦)
- 11/16 「認知症に係る制度について」
(社会福祉士 林 和美)